

第 148 回サイエンス・カフェ札幌

わかってはいるのに…—行動経済学の切り口から探る、判断のクセ—

【概要】

日常生活では「わかってはいるのに、できない」という経験は誰もが持っています。それは怠惰や意志の弱さではなく、人間の脳の働きに由来するものです。本サイエンス・カフェ札幌では、行動経済学を切り口に、人間の意思決定における「判断のクセ」を探ります。

【趣旨】

◎行動経済学から学ぶ、人間の判断メカニズム

経済学では、人間は合理的に判断・行動すると考えられてきました。しかし、実際には私たちは多くの無意識的なバイアスに支配されています。行動経済学は、こうした「判断のクセ」を科学的に研究する分野です。本セッションでは、参加者が実際の選択問題に答えながら、自分たちの判断のパターンを認識していきます。

◎ゲストとの対話、そして AI との比較

ゲストの高橋泰城教授は、北海道大学大学院文学研究院で人間の心理と行動について研究する専門家です。後半では、AI（人工知能）と人間の意思決定の違いについても討論予定です。来場者とゲストが双方向で対話することで、科学的知見と日常の経験をつなぎます。

【タイトル】 わかってはいるのに…—行動経済学の切り口から探る、判断のクセ—

【日 時】 2026 年 9 月 29 日（火）18 時 30 分～20 時（開場：18 時から）

【場 所】 札幌市図書・情報館 1 階

（札幌市中央区北 1 条西 1 丁目 札幌市民交流プラザ 1 階）

【対 象】 一般市民

【募集人数】 40 人（先着順）

【開催形式】 対面開催

【参 加 費】 無料（申し込み不要）

【言 語】 日本語

【ゲ ス ト】 北海道大学大学院文学研究院 教授 高橋泰城

【聞 き 手】 北海道大学教育イノベーション機構 CoSTEP「対話の場の創造実践演習」受講生

【主 催】 北海道大学教育イノベーション機構 CoSTEP

【共 催】 札幌市図書・情報館

お問い合わせ先

北海道大学教育イノベーション機構教育開発センター科学技術コミュニケーションユニット
(CoSTEP) 准教授 奥本素子 (おくもともとこ)

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320

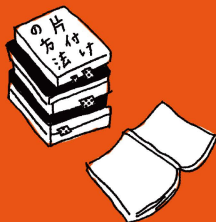
メール okumoto@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/31858>

配信元

北海道大学社会共創部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp



第148回 サイエンス・カフェ札幌

わかってはいるのに...

行動経済学から探る、判断のワセ



参加
無料

先着
40名

申込
不要



150th
HOKKAIDO UNIVERSITY



9/29 火 18:30~20:00 開場 18:00

札幌市図書・情報館 / Fサロン (札幌市民交流プラザ内)



話し手 高橋 泰城 さん (北海道大学文学院 教授)



聞き手 北海道大学 CoSTEP
対話の場の創造実践演習 受講生

主催 北海道大学 CoSTEP

共催 札幌市図書・情報館

チラシ制作 CoSTEP グラフィックデザイン実践演習





たかはし たいき
高橋 泰城 さん 博士 (理学)

北海道大学 教授。
文学院行動科学講座 / 半導体フロンティア研究機構 / 人間知・脳・AIセンター / 脳科学研究教育センター / 社会科学実験研究センター

意思決定の仕組みを調べるため、行動経済学的手法と神経生物学的手法を組み合わせた神経経済学と呼ばれる分野の研究を行っている。行動分析のために数理物理学的なモデルを応用している。

ようやく慣れつつある北海道の冬が近づいてきました。そろそろ靴や服などの選択をして、寒さに備えます。

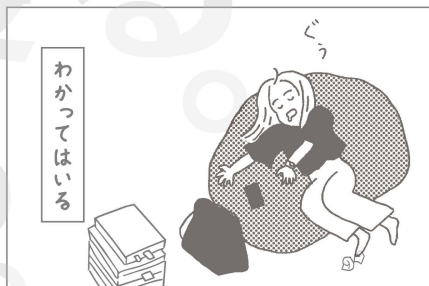
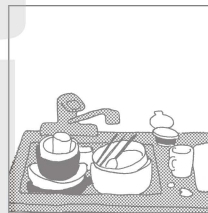
「今夜こそ勉強しよう」と思っていたのに、気づけばソファでスマホを触っている。ダイエットは明日から。積読は増える一方。わかってはいるのに、できない。そんな自分に、少しうんざりしたことはありませんか。それは、怠けているからではないかもしれません。

私たちは自分のことを、そこそこ合理的に判断していると思っています。ところが行動経済学の実験にかかると、その自信は簡単に揺らぎます。今すぐの選択と、一年後の選択とは、同じ比較のはずなのに答えが変わってしまう。不確実な条件が入るだけで、決めることそのものを先延ばしにしてしまう。どちらも、後から振り返ると筋が通っていません。

このサイエンスカフェでは、神経経済学と行動経済学を研究する北海道大学の高橋泰城さんをお招きします。神経経済学は、人間の合理性を脳やホルモンなどの働きから分析するのに対して、行動経済学では心の働きから分析します。

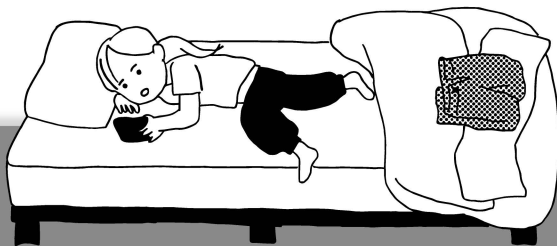
当日は、実際にいくつかの問いに答えてもらいながら進めます。答えを考えてから解説を聞くと、自分の頭の中で何が起きていたのかが見えてきます。さらに後半では、私たちの生活に入り込んだAIについても話題提供していただきます。

難しい数式は出てきません。必要なのは、自分の頭の中を少しだけ覗いてみる好奇心だけです。わかってはいるのに、できない。そんな自分を、少し面白がれるようになるかもしれません。



行動経済学から探る、
判断のクセ

わかっては
いるのに…



北海道大学 教育イノベーション機構 教育開発センター
科学技術コミュニケーションユニット (CoSTEP)

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目 総合教育棟 N163A
e-mail costep_office@ml.hokudai.ac.jp
phone・fax 011-706-5320
https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp

CoSTEPは、科学技術の専門家と市民の橋渡しをする人材を育てる教育研究組織です。

第149回
サイエンス・カフェ札幌

開催日 2026年 10月18日 (日)

会場 未定 (札幌市内)

ゲスト 江澤 辰広 さん / 北海道大学農学研究院 准教授

Key words 菌根菌・植物・共生関係・農業・環境問題

次回イベント